

(5面から続く)

かしの名前は、ここにひっそりと眠っていて原則は非公開となっております。熱心なメンバーファンならずとも、誰もが「一般の人も見学できないものか」と思っはすです。例えば、仮にカレスト座間に隣接して「日産座間モーターカーミュージアム」なるものでも立ち上げれば、観光による産業振興、街を活性化させる座間の観光の太い柱の本になるのではないかと思っています。

え、企業側にさまざまな形で要請、要望を行っていくことも重要かと思いますが、市長のご所見をお伺いします。市長 以前、前任者からご質問をいただき、投げかけを会社の方にさせていたという状況です。残念ながら現状ではご理解をいただけない状況です。引き続きさらに理解をいただくために会社の方と交渉をしてみたいと考えております。会社側としても会社の事情があるわけで、その辺をさらに聞きながら会社側と協議をさせていただきたいという考えを持たせていただいております。

### IP電話の導入を

小野議員(公明党) 情報通信の活用について、ITの目覚ましい進展と共に自治体の活用事業範囲も広がり、インターネットを利用し、人材バンクを立ち上げた地域もあります。今後、本市の実情に応じた市民コミュニケーションも必要と考えます。また、横須賀市では、高齢者福祉サービスを迅速・的確にするため、社快システムを運用し、経費の削減にも成功し、ワン

### 市国民保護 計画は延期を

沖永議員(市民連合) 二〇〇六年度予算について国民保護法に基づく市保護計画についてお聞きします。法第九条第一項では「国民保護のための措置を実施するにあたっては高齢者、障害者、その他配慮を要する者の保護について留意しなければならぬ」と規定されています。

菊川議員(日本共産党) 障害者の生活と権利を守るために、障害者自立支援法の開始により、障害が重く制度利用が多い人ほど負担が大きくなるという心益負担の導入は、自立支援どころか自立を妨げ生きる権利を奪うものです。本市としてどのような体制をとり万全を期すのか。

### 障害者の権利を守れ!

第一に、各サービスを受ける想定数をどのように見ているか、対象者への周知や職員体制はどうするのか。第二に、本市として障害者医療費助成の見直しを行います。軽減策の拡充を求めたいと思います。第三に、政府が示した「基本指針」で施設入所者の7%削減を求めています。公的施設から障害者を追い出すド通信の普及や技術の向上により音質なども改善されたためです。一回線でも多数の通話ができ、従来の電話に比べて回線の効率的な利用ができるIP電話導入への見解を伺います。市長 社快システムについては、十分に勉強させていた

でも具体的な対応は示されておらず、国と米軍との協議において、その協議事項は、米軍家族の避難や日本の消防の立ち入りなどで、市民保護は念頭にないようです。この問題では、米陸軍新司令部等の移転がどうなるかによって被害想定は大きく違ってくるはずですが、現状では市保護計画の策定については延期すべきだと考えますが、市長の見解求めるものです。

### 討論

必要な人に必要なサービスを 沖永議員(市民連合) 障害者自立支援法成立による制度変更で、利用者にとって最大の問題はやはり心益負担が導入された費用負担の問題です。障害者が生きるため

### 効率的予算編成に賛意

安斉議員(自民党明政会) 上程されました諸議案に対し、賛成の立場を明らかにして討論を行います。景気は緩やかながら回復基調にある一方、景気回復が実感できるまでには至っていない状況の中で、前年度に比べて税の根幹である市税において一定の伸びがあったものの、

### 国民協議会条例などに疑問

牧嶋議員(無党派) 今定例会に提案されました諸議案のうち、議案第十二号、議案第十四号に反対の立場を明らかにし、その他の議案には賛成の立場から意見、要望を含め討論を行います。有事法制関連法の一つである武力攻撃事態における国民の保護のための措置に関する法律により、市町村にも国民保護計画の策定が求められています。国民保護法が想定する有事とは、着・上陸攻撃、

要な人に必要なサービスが提供されないという事態です。これに対し、独自の利用者負担の軽減策を実施しようとする自治体もありますが、残念ながら本市の場合は、実施の予定はなく、さらに担当では試算も十分な検討もされていません。市長自身もかつて本会議場で「定額負担というのは、障害が重い人ほど負担が大きく、利用が困難になる」と的確に心益負担を批判し、「必要な人に必要なサービスを提供することが大原則である」という極めてまっとうな認識を明らかにしていたはず

す。予算編成に当たっては、歳入歳出全般にわたり徹底した見直しを行い、限られた財源の中で市民需要の高度化、多様な社会情勢の変化に適切に対応し、効率的な質の高いサービス向上に取り組みされた市長の姿勢を多々感じます。なお、今年度も昨年取り組まれた五つの重点目標を継承され、さらに新たな事業として工場・事務所から発生する避するための平素からの平和教育の実践であることを指摘しておきたいと思えます。次に、昨年度同様、小学校一年生児童に防犯ブザー貸与のための予算措置がされています。実際、落として壊れたままや電池が切れて鳴らなかつたという状況もあるよう

福 社 施策など評価 鈴木議員(政和会) 上程されました諸議案に対し賛成の討論を行います。平成十八年度予算案歳出全 (7面に続く)